

## 2009～2010 年東大雪・知床等のトイレ・野営指定地の状況

黒澤大助（山のトイレを考える会・札幌中央勤労者山岳会）

第 11 回山のトイレを考える会フォーラム資料集に「2009 年大雪山系～十勝岳連峰の山のトイレ・山小屋・野営指定地の状況」を報告しました。その後、東大雪ユニ石狩岳から沼の原、ニペソツ山（杉沢）、ニセカウシュッペ山（中越）、富良野岳（原始ヶ原）、羅臼岳から硫黄山の登山口のトイレ・野営指定地・登山道の状況を見てきたので報告します。

### 1. ユニ石狩岳～沼の原（2010 年 8 月 16～17 日）

平成 22 年のユニ石狩岳の登山者数 937 人。

平成 22 年の沼の原（クチャン）の登山者数 517 人。

（データは「風の便り工房」：佐藤文彦氏による。登山口の登山届出による。）

ユニ石狩岳登山口に仮設トイレ・携帯トイレの回収 BOX が必要ではないかと思えます。

ブヨ沼野営指定地



ブヨ沼野営指定地



ゴミはトイレ跡一箇所とウイスキーのビン一本だけでした。ブヨ沼野営指定地は非常にきれいに整備されていました。

問題は根曲がり廊下付近です。鞍部から沼の原までの 1/3 程度迄はこまめにピンクの蛍光テープが付けてあり登山道は容易に解りましたが、それから先はテープが落ちたり、ちぎれてだんだん少なくなり沼の原への登り付近では殆んど無く、ルート不明瞭となります。



左上の写真は沼の原に上って最初の道標です。沼の原山・石狩岳・大沼への道標と思われませんが登山道も方向も全く解りません。

右上と左の写真は大沼の淵にある環境省の看板と道標です。看板には『～携帯トイレを使って～!』

「大沼の水質を悪化させないように自分の糞尿は携帯トイレを使って持ち帰りましょう。」と記載されています。360度丸見えの野営地で携帯トイレのブースも無いのにどうやって用を足すのか、遠方から来た登山者に自宅まで持ち帰れとはあまりにも酷ではないでしょうか？



クチャンベツの登山口駐車場から大沼までの登山道・大沼周辺の登山道と木道は荒れ放題です。残念ながら数日前の大雨で野営指定地は確認できませんでした。



大沼の腐った木道と一部が修復された木道

クチャンベツ(沼の原登山口)の駐車場には2室の簡易トイレがありますが1室しか使えま

せんでした。携帯トイレの回収BOXは有りません。



沼の原登山口 駐車場の簡易トイレ

補足；沼の原登山口(クチャンベツ)への林道は、2011 年度は大雨被害で通行止め。2012 年登山シーズンも復旧せずの情報があります。(詳しくは所轄の森林管理署へ問い合わせ必要)

## 2. ニペソツ山 杉沢コース (2009 年 09 月 21 日)

平成 22 年登山者数 416 人。 ・平成 23 年登山者数 408 人。

(データは「風の便り工房」:佐藤文彦氏による。登山口の登山届出による。)

当日、駐車場は満車で登山者も多数いました。素晴らしい山容とトイレ環境も最高なのに登山者数のデータを見て登山者が少ないのはちょっと残念に思います。



## 登山口の簡易トイレと携帯トイレ回収 BOX



天狗のコの携帯のトイレのブー

ス

ヒアリング：NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンターからの説明

現在、携帯トイレは上川総合振興局から頂いたものを無料で配布していますが、在庫が切れた時点で有料化にします（在庫は残り僅かです）とのことでした。

トイレ等の管理（簡易トイレの清掃・携帯トイレのブースの春の組み立てと修理・秋の分解・携帯トイレの回収）は、NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンターが委託を受けて行っています。

トイレは綺麗に清掃されていてとても気持ち良かったです。ガイドセンターの皆さん大変ご苦労様です。大雪山の携帯トイレの回収BOXの鍵のナンバー「530」をどのように登山者に周知するかが課題です。携帯トイレの配布と回収についてはデータを取ってありませんでした。

### 3. 富良野岳・原始ヶ原コース（2010年10月11日）

- ・平成22年の登山者数 394人。
- ・平成23年 375人。

（データは上川南部森林管理署 登山口の登山届出による。）

写真は富良野岳・原始ヶ原コースの登山口にあるニングルの森管理棟と簡易トイレで富良野市が建築・設置したものです。ニングルの森管理棟の管理は、富良野市が富良野山岳会に委託しています。宿泊は無料で鍵の貸し出しは、平日の日中は富良野市役所観光課が行い時間外は富良野市役所の警備員室が対応しています。管理棟は山小屋風の作りで非常に綺麗で中にもトイレがありました。



#### 4. 表大雪山 愛山溪 (2010年9月17~18日)

・平成22年登山者数 1,026名

(データは「風の便り工房」：佐藤文彦氏による。登山口の登山届出による。)



登山口のトイレ



愛山溪温泉



愛山溪ヒュッテ

登山口に置いてあった携帯トイレの回収BOXが撤去されたのは大変残念です。

写真は全て裾合平付近の樋状に削られた酷い登山道の様子です。

北海岳から白雲岳に向かう登山道も同様に樋状に削られ酷い状態でした。





## 5. ニセカウシュッペ山 (2009年9月21日)

国道 273 号線中越からのコース

・平成 22 年の登山者数 14101 人。      ・平成 23 年の登山者数 1181 人。

(データ・ヒアリングは上川中部森林管理署 上川森林事務所：登山口の登山届出による。)

作業用だった林道を開放しているので登山道としての名称はありません。2009年9月21日に訪れたときは、登山口の駐車場付近の笹藪の中は排便の跡で酷かったのですが未だ登山口に簡易トイレ等はありません。是非簡易トイレ等の設置をして欲しいと思っています。



国道 39 号線 清川コースとの合流付近。  
なっています。

表大雪山の展望も素晴らしく人気スポットに

## 6. 知床 羅臼岳から硫黄山縦走 (2009年8月11~12日)



木下小屋



木下小屋前のトイレ



各指定野営地に置かれているヒグマ対策の「フードロッカー」  
食料・使用した食器などを入れます。  
テント内に食料を置かない。  
テントから離れた所で食事を作る。  
匂いの強い食事は作らない事とテント泊の学生が話してくれました。

### 木下弥三吉翁のレリーフと周辺の排便の跡



排便の臭いが漂う中での食事は気分が悪くなり非常に不愉快です。  
羅臼平以外の野営指定地はゴミ一つ無く綺麗でした。

羅臼岳の平成 22 年・23 年の登山者数

「ウトロ側」 ・平成 22 年 4,867 人。 ・平成 23 年 4,588 人。

(データは網走南部森林管理署。登山口の登山届出による。)

「羅臼側」 ・平成 22 年 272 人。 ・平成 23 年 199 名。

(データは根釧南部森林管理署。4 月から 10 月までの登山口の入林者管理簿による。)

携帯トイレのブースについてのヒアリング；ウトロ自然保護官事務所

平成 21 年から登山ピーク時の 7 月 15 日から 8 月 8 日までの間、銀冷水の所にテント式携帯トイレのブースを二基設置した。平成 23 年の利用者は 198 人。(手押しカウンターによる。) 羅臼平に携帯トイレのブースの設置することについては、登山者の殆どが日帰りであること、野生動物の通り道であること、強風であることから設置は困難であるとの(当時は)回答でした。

日帰りの登山者が木下弥三吉翁のレリーフ前でトイレの順番待ちをしていることがあると山岳ガイドから聞きました。また、2009 年 8 月 11 日には 40 人程が羅臼平にテント泊をしていました。そのようなことを考えると「北海道の野営指定地ワースト 2」(私が見た個人的な評価)の羅臼平には、強風に耐える携帯トイレブースの設置が必要だと思います。

知床の野営指定地の状況については、第 11 回山のトイレを考えるフォーラム資料集 P70～71 に 「3、アクティブレンジャーによる現況把握調査」 が掲載されていますので参照下さい。

「ウトロ側」 斜里町役場環境保全課よりヒアリング；

携帯トイレの販売数と回収数 ホテル地の涯・木下小屋

	販売数	回収数
平成 22 年	370 個	407 個
平成 23 年	327 個	528 個

「羅臼側」 羅臼町役場水産商工観光課よりヒアリング；

携帯トイレの販売数

販売場所	ビジターセンター	村田スポーツ店	羅臼温泉キャンプ場
平成 22 年	22	5	0
平成 23 年	30	10	1

携帯トイレの回収数は羅臼温泉キャンプ場のゴミ箱に一般ゴミとして回収しているので不明です。

ヒアリング：斜里町観光課

カムイワッカ湯の滝と硫黄山登山口の間 600 メートルが防災工事のため全面通行止めになっていましたが、2011 年から道路特例使用承認申請書を提出することを条件に通行できるようになり、羅臼岳から硫黄山カムイワッカ湯の滝への縦走が容易に出来るようになりました。

平成 23 年の羅臼岳から硫黄山カムイワッカの滝の縦走者 287 人。

硫黄山のピストン 346 人。

硫黄山の登山口に携帯トイレの回収 BOX 置くことについては検討中です。

① 2012 年の登山期間：6 月 25 日から 9 月中旬までの予定。

② シャトルバスの運行：例年通り

8 月 1 日から 8 月 25 日までと 9 月 15 日から 9 月 24 日の間

シャトルバスの運行期間中はカムイワッカ湯の滝へのマイカーの乗り入れは禁止。

③ シャトルバスの運行期間中のシャトルバスの登山利用について（参考まで）

羅臼岳から硫黄山縦走：岩尾別温泉か岩尾別 YH に車を置き羅臼岳から硫黄山縦走、カムイワッカ湯の滝からシャトルバスで岩尾別 YH に戻る。

硫黄山の往復：知床自然センターとカムイワッカ湯の滝をシャトルバスで往復。

硫黄山の往復は健脚者で往復 7 時間ほど掛かるのでシャトルバスの始発と最終便を利用しても日帰り往復は時間的に厳しい。

④ 平成 24 年の道路特例使用承認申請書について

カムイワッカ湯の滝と硫黄山登山口の 600 メートルの間を通行する為には、事前に道路特例使用承認申請書の提出が必要だが周知されていない為、昨年と同様に道路特例使用承認申請書を登山口に置き記載して投函出来る様にする。

平成 24 年の道路特例使用承認申請書は記載内容等を変更しているため平成 23 年の道路特例使用承認申請書での申請は無効です。

平成 24 年の道路特例使用承認申請書は 6 月までに知床関連のホームページからダウンロード出来る様にする。との回答でした。詳細については斜里町役場観光課に問合せ下さい。

## 7. おわりに

北海道の山岳部における環境汚染（トイレ問題）は夏山登山者が殆どです。登山道の整備・野営地の指定・避難小屋を設けるなら登山者数に見合ったトイレ環境を作らなければ当然環境は悪化します。調査・検討会等に費用と時間をかけて改善が先送りされる事に非常にジレンマを感じています。



羅臼岳山頂から硫黄山方面の展望



硫黄山